

## 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 株式会社 セラフィム

科目及び研修時間数	5 介護におけるコミュニケーション技術(6時間)		
特 徴	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限取るべき、あるいは取るべきではない行動例を学ぶ。		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の心理や利用との人間関係を著しく傷つけるコミュニケーションとその理由について考え、相手の心身機能に合わせた配慮ができるようになる。</li> <li>・チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性や重要性を理解する。</li> </ul>		
項 目	時間	内 容	
		講 義	演 習
(1) 介護におけるコミュニケーション	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割(相手のコミュニケーション能力に対応する理解や配慮、傾聴、共感の応答)</li> <li>・コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション(言語的コミュニケーション・非言語コミュニケーションの特徴)</li> <li>・利用者・家族とのコミュニケーションの実際(利用者の思いの把握、意欲低下の要因、利用者の感情に共感する、家族の心理的理解・励まし、信頼関係形成、アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い)</li> <li>・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際(視力・聴力の障がい・失語症・構音障害・認知症に応じたコミュニケーション技術)</li> </ul>	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記憶における情報の共有化(介護における記録の意義・目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録、介護に関する記録の種類、個別援助計画書、ヒヤリハット報告書、5W1H)</li> <li>・報告(報告の留意点、連絡の留意点、相談の留意点)</li> <li>・コミュニケーションを促す環境(会議、情報共有の場、役割の認識の場(利用者と頻りに接触する介護者に求められる観察眼)、ケアカンファレンスの重要性)</li> </ul>	
合計	6		

使用テキスト	介護職員初任者研修テキスト 第2分冊 「制度の理解」
使用する機器・備品等	
備考	